

平成 21 年度環境技術実証事業
ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）
第 4 回ワーキンググループ会合
議事要旨

1. 日時：平成 22 年 3 月 1 日（月） 15:30～17:30
2. 場所：鉄鋼会館 802 号室
3. 議題
 - (1) 開会
 - (2) 前回議事録の確認
 - (3) 審議事項
 - i) 実証試験結果について
 - ii) 報告書ひな形について
 - (4) その他（今後の予定）
 - (5) 閉会
4. 出席検討員：近藤座長、武田検討員、足永検討員、森川検討員
5. 配付資料

資料 WG4-1：第 3 回ワーキンググループ会合（非公開）議事録（案）	（委員限り）
資料 WG4-2-1：実証試験結果（測定結果・JTCCM）	（委員限り）
資料 WG4-2-2：実証試験結果（測定結果・epcc）	（委員限り）
資料 WG4-2-3：実証試験結果（測定結果・JPIA）	（委員限り）
資料 WG4-3-1：実証試験結果（数値計算結果・掲載書式）	（委員限り）
資料 WG4-3-2：実証試験結果（数値計算結果・JTCCM,epcc）	（委員限り）
資料 WG4-3-3：実証試験結果（数値計算結果・JPIA）	（委員限り）
資料 WG4-4-1：実証試験結果報告書ひな形（日射遮蔽フィルム）	（委員限り）
資料 WG4-4-2：実証試験結果報告書ひな形（窓用コーティング材）	（委員限り）
資料 WG4-4-3：実証試験結果報告書ひな形（後付複層ガラス）	（委員限り）
資料 WG4-4-4：実証試験結果報告書ひな形（高反射率塗料・工場屋根用）	（委員限り）
資料 WG4-4-5：実証試験結果報告書ひな形（高反射率塗料・工場壁面用）	（委員限り）
資料 WG4-4-6：実証試験結果報告書ひな形（高反射率塗料・屋上防水材用）	（委員限り）
資料 WG4-4-7：実証試験結果報告書ひな形（高反射率瓦）	（委員限り）
資料 WG4-4-8：実証試験結果報告書ひな形（高反射率ブラインド）	（委員限り）
資料 WG4-4-9：実証試験結果報告書ひな形（開口部用後付建材）	（委員限り）
資料 WG4-4-10：実証試験結果報告書ひな形（日射遮蔽網戸）	（委員限り）
資料 WG4-5：年度スケジュール	
参考資料 WG4-A：報告書抜粋（明度と日射反射率の関係について）	

6. 議事

会議は公開にて行われた。

(1) 前回議事録の確認

事務局より、資料 WG4-1 に基づき第3回ワーキンググループ会合の議事について説明及びその確認を行った。

(2) 審議事項

i) 実証試験結果について

① 測定結果について

事務局より、資料 WG4-2-1～資料 WG4-2-3 に基づき各実証機関から提出された実証試験結果（測定結果）について説明を行った。

[意見・質疑応答など]

- 反射率の保持率の算出方法は。
→高反射率塗料の資料中に記載がある。暴露試験後の値を暴露試験前の値で除したものを百分率で示したものである。

② 数値計算結果について

事務局より、資料 WG4-3-1～資料 WG4-3-3 に基づき、各実証機関から提出された実証試験結果（数値計算結果）について説明を行った。

[意見・質疑応答など]

- 高反射率塗料の対流顕熱量は、ヒートアイランド対策として効果を示すものであるが、ブラインドや網戸では逆効果を示すものとなる。フィルムやコーティングで算出していない項目であるので、算出しなくてもよいのではないか。

ii) 報告書ひな形について

事務局より資料 WG4-4-1～資料 WG4-4-10 に基づき報告書ひな形の説明を行った。説明に対してなされた議論は以下のとおりであった。

[意見・質疑応答など]

- 実証ロゴマークは、年度末に行われる実証運営検討会にて検討することが予定されている。年度末にデザインが変更する可能性があり、変更されたものが報告書に反映される予定である。
- 高反射率ブラインドを翌年採用する場合は、フィルムと同様の扱いをするべきである。

[決定事項]

- 報告書ひな形は、指摘の点を修正することを前提に全て承認された。

(3) その他（今後の予定）

事務局より、資料 WG4-5 に基づき今後の予定の説明を行った。

（文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室速報のため事後修正の可能性有り）